

成蹊教養カリキュラム：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）

中世ヨーロッパに大学が生まれて以来、教養教育の根幹には長らく言葉の探究（文法・論理・修辞学）と自然の探究（天文学・算術・幾何学・音楽）が据えられてきました。言葉と自然に関する素養こそが、あらゆる知識の基盤になると考えられてきたからです。

成蹊教養カリキュラムはこうした教養教育の伝統を受け継ぎながら、文系学部と理系学部が同一キャンパスにあるという本学の特色を活かし、グローバル化時代にふさわしい、専門性を備えた教養人を育成することを目指します。その実現のために、5つの目標を置きます。

- (1) 文系・理系の枠を越えた、幅広い視野と素養を育むこと。
- (2) 論理的・批判的(クリティカル)な思考力と、それを支える情報活用力を身につけること。
- (3) 人間や文化、社会の多様性を認識し、自分と異なる価値観や感性をもった者と対話できる力を高めること。
- (4) 日本語や英語をはじめとする諸言語に対する関心と知識を深め、運用能力を向上させること。
- (5) 自律的学修能力を身につけ、生涯学び続けるための基礎を固めること。

これらの目標を達成するため、教養カリキュラム全体を通じて以下のような力を育成することを目指します。

1. 「個性尊重の人格教育」という学園建学以来の理念と大学の教育目標を踏まえ、文化や価値観などが異なる人びとを理解・尊重し、またそうした人びととのコミュニケーションを通じて自らを理解・確立しようとする動機をもっている。
2. 自分は相手と何を共有し、共有していないのかを考えながら、相手の主張の背後にある文脈を踏まえて発言を理解するとともに、自分の主張が相手にどのような文脈で理解される可能性があるのかに注意を払い、表現の内容及び方法を適切に調整できる。
3. 文献調査や資料整理の方法、論理的文章を書く際のルールなど、大学の専門課程で学修をおこなう上で求められる基本的な技能を身につけている。また、プレゼンテーションやグループワークの方法、及びそれと関連する情報メディアの利用法を修得している。

成蹊教養カリキュラムの基本構造

学修・教育目標	科目グループ	
成蹊を知り、豊かな人間性を涵養する。	A. 桃李成蹊科目	
+		
学修・教育目標	B. 人間形成系統： 社会人として必要となる、基本的な技能や考え方を身につける。	C. 文化創造系統： 自分の意見を発信する力を養う。
1. 国際性の育成： 真の国際人に必要なグローバルな感覚を養う。	(B1) 英語科目	(C1) 国際理解科目（初修外国語・異文化理解科目、国際教養科目）
2. 社会性の育成： 社会に貢献するための基礎を作る。	(B2) 日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目	(C2) 総合文化科目（人間と文化、社会と文化、科学技術と文化）

科目グループ別カリキュラム・フロー

注：科目名の○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

A. 桃李成蹊科目

☆ 学修・教育目標：創業者中村春二の理念である「個性尊重の人格教育」を受け継ぐ科目で、少人数の必修ゼミである「フレッシュャーズ・セミナー」をコアに据え、成蹊教育、地域との共生、他人を思いやる心の3つの分野を学ぶことにより、豊かな人間性を涵養します。

科目グループ	学修・教育目標	授業科目・単位数・配当年次			
		1年次		2(3, 4)年次	
		プレ・ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム以降
桃李成蹊科目	コア	大学における基本的な学修方法を修得している。			
	A群	フレッシュャーズ・セミナー②		フレッシュャーズ講座①	
	B群	成蹊を知る②	成蹊教養セミナー②	成蹊ボランティア②	
	C群	武蔵野地域研究② 武蔵野市寄附講座②	成蹊環境セミナー②	地域福祉論②	
		他人を思いやる豊かな心が育まれている。	人権とジェンダー② 福祉社会に生きる② 成蹊グローバルセミナーA②	青年の心と身体② 情報保障とボランティア② 成蹊グローバルセミナーB②	こどもと社会② 老人福祉論②

B. 人間形成系統

☆ 学修・教育目標：社会人として必要となる、基本的な技能や考え方を身につけます。

B1. 英語科目

科目 グループ	学修・教育目標	授業科目・単位数・配当年次			
		1年次		2(3,4)年次	
		プレ・ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム以降
英語科目	コア 社会で使える英語が身についている(英語で短いスピーチができる。英語で議論ができる。英文を読み、それを要約し、また、自分の意見を書くことができる)。	Freshers' English① College English (Listening & Speaking) I① College English (Reading & Writing) I①			
	発展 TOEFL, TOEIC試験で所定のスコアを獲得することができる。	College English (Listening & Speaking) II① College English (Reading & Writing) II①		College English (Global Topics) I① College English (Local Topics) I①	
	コア科目で修得した英語力を発展させ、社会で使える十分な英語力を身につけている。	TOEFL Preparation Intermediate① TOEIC Preparation Intermediate① IELTS Preparation Intermediate①		TOEFL Preparation Advanced① TOEIC Preparation Advanced① IELTS Preparation Advanced①	
		Presentation Skills② Writing Skills② 多読で学ぶ英語と文化② ドラマで学ぶ英語と文化②		Discussion Skills② 映画で学ぶ英語と文化② 歌で学ぶ英語と文化②	

B2. 日本語力科目

科目 グループ	学修・教育目標	授業科目・単位数・配当年次			
		1年次		2(3,4)年次	
		プレ・ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム以降
日本語力	コア 社会人にふさわしい日本語力を身につけている。	日本語表現講義② 実践漢字講座② 実践日本語表現② 実践話し方入門② 文章読解講座②			
	発展 コア科目で修得した知識・技能を発展させ、より高度な日本語表現力・理解力を身につけている。	古典日本語A② 古典日本語B②		テーマ別日本語表現② 実用文書の作り方・情報の伝え方②	

B2. キャリア教育科目

科目 グループ	学修・教育目標	授業科目・単位数・配当年次			
		1年次		2(3,4)年次	
		プレ・ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム以降
キャリア教育科目	コア 進路選択に必要な基本知識及び情報収集の方法を修得している。	キャリアプランニング② ビジネストレーニングセミナー②			
	発展 ・キャリア構築の方向性を理解している。 ・組織で働くことの役割を理解し、社会的マナーやコミュニケーション力を身につけている。	キャリアセミナー②		キャリア発展講義② International Internship② (3年次より)日本企業の現状と展望② インターンシップ準備講座② インターンシップ実習② 理工系インターンシップ実習②	

B2. 情報基盤科目

科目 グループ	学修・教育目標	授業科目・単位数・配当年次			
		1年次		2(3,4)年次	
		プレ・ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム以降
情報基盤科目	コア ・情報化社会の一員としての重要な情報倫理について理解している。	情報基礎②			
	発展 ・大学での学修や成果発表の手段として必要な情報基盤技術を修得している。	情報活用A② 情報活用E②		情報活用B② 情報活用F② 情報活用C② 情報活用D②	

B2. 健康・スポーツ科目

科目 グループ	学修・教育目標	授業科目・単位数・配当年次			
		1年次		2(3,4)年次	
		プレ・ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム以降
健康・スポーツ科目	コア ・生涯にわたって、自らが豊かな生活を営めるよう、自己の身体の状態の把握や運動の実践を通じて、健康を維持増進するための方法を理解している。	健康・スポーツの基礎②			
	発展 ・チームやグループワークのマネジメントをし、適切なコミュニケーションをとり、生涯スポーツ・運動をプロデュース、実践することができる。	(講義) スポーツと科学② 健康と科学②		スポーツと文化② スポーツと身体② スポーツと社会②	
		(演習) 健康・スポーツの発展AⅠ② 健康・スポーツの発展AⅢ② 健康・スポーツの発展BⅠ② 健康・スポーツの発展BⅢ② 健康・スポーツの発展SⅠ② 健康・スポーツの発展SⅢ②		健康・スポーツの発展AⅡ② 健康・スポーツの発展AⅣ② 健康・スポーツの発展BⅡ② 健康・スポーツの発展BⅣ② 健康・スポーツの発展SⅡ② 健康・スポーツの発展SⅣ②	

C. 文化創造系統

☆ 学修・教育目標：自分の意見を発信する力を養います。

C1. 国際理解科目

科目グループ	学修・教育目標	授業科目・単位数・配当年次			
		1年次		2(3,4)年次	
		プレ・ターム	第2ターム	第3ターム以降	
初修外国語・異文化理解科目	コア	<ul style="list-style-type: none"> 各言語の基本的構造をおおよそ理解している。 基礎的な会話ができる。 			
	A群 発展	コア科目で修得した知識を発展させ、より高度な文法理解、会話能力を身につけている。		(第3ターム) ドイツ語基礎AⅡ① ドイツ語基礎BⅡ① フランス語基礎AⅡ① フランス語基礎BⅡ① スペイン語基礎AⅡ① スペイン語基礎BⅡ① 中国語基礎AⅡ① 中国語基礎BⅡ① 韓国語基礎AⅡ① 韓国語基礎BⅡ① (第4ターム) ドイツ語基礎AⅢ① ドイツ語基礎BⅢ① フランス語基礎AⅢ① フランス語基礎BⅢ① スペイン語基礎AⅢ① スペイン語基礎BⅢ① 中国語基礎AⅢ① 中国語基礎BⅢ① 韓国語基礎AⅢ① 韓国語基礎BⅢ① (第5ターム) ドイツ語演習言語と文化Ⅰ② ドイツ語演習言語と文化Ⅱ② ドイツ語演習検定対策Ⅰ② ドイツ語演習検定対策Ⅱ② ドイツ語演習プレゼンテーションⅠ② ドイツ語演習プレゼンテーションⅡ② フランス語演習言語と文化Ⅰ② フランス語演習言語と文化Ⅱ② フランス語演習検定対策Ⅰ② フランス語演習検定対策Ⅱ② フランス語演習プレゼンテーションⅠ② フランス語演習プレゼンテーションⅡ② スペイン語演習言語と文化Ⅰ② スペイン語演習言語と文化Ⅱ② スペイン語演習検定対策Ⅰ② スペイン語演習検定対策Ⅱ② スペイン語演習プレゼンテーションⅠ② スペイン語演習プレゼンテーションⅡ② 中国語演習言語と文化Ⅰ② 中国語演習言語と文化Ⅱ② 中国語演習検定対策Ⅰ② 中国語演習検定対策Ⅱ② 中国語演習プレゼンテーションⅠ② 中国語演習プレゼンテーションⅡ② 韓国語演習言語と文化Ⅰ② 韓国語演習言語と文化Ⅱ② 韓国語演習検定対策Ⅰ② 韓国語演習検定対策Ⅱ② 韓国語演習プレゼンテーションⅠ② 韓国語演習プレゼンテーションⅡ②	
		B群			(第3ターム) ドイツ語会話Ⅰ① ドイツ語会話Ⅱ① フランス語会話Ⅰ① フランス語会話Ⅱ① スペイン語会話Ⅰ① スペイン語会話Ⅱ① 中国語会話Ⅰ① 中国語会話Ⅱ① 韓国語会話Ⅰ① 韓国語会話Ⅱ① (第5ターム) ドイツ語会話Ⅲ① ドイツ語会話Ⅳ① フランス語会話Ⅲ① フランス語会話Ⅳ① スペイン語会話Ⅲ① スペイン語会話Ⅳ① 中国語会話Ⅲ① 中国語会話Ⅳ① 韓国語会話Ⅲ① 韓国語会話Ⅳ①
			C群	各言語の文化圏についての基礎的理解ができている。	異文化理解A②
		D群	各言語の初歩的知識を修得している。		世界の言語①(ロシア語Ⅰ・Ⅱ タイ語Ⅰ・Ⅱ イタリア語Ⅰ・Ⅱ)
国際教養科目	コア	近現代における日本の歴史及び現代における日本と世界の地域的特徴(地域システム)を理解している。		近現代日本史A② 近現代日本史B② 戦後の日本と世界② 現代日本の地理② 現代世界の地理②	
	発展	近現代におけるアジア・欧米の歴史及びヨーロッパ等をトピックとした地域的特徴(地域システム)を理解している。		国際教養総合講義② 近現代アジア史A② 近現代アジア史B② 近現代欧米史A② 近現代欧米史B② 歴史トピックス② アジア地域理解② ヨーロッパ地域理解② 北米地域理解② イスラーム世界理解② 地域理解トピックス②	
	留学	(留学単位認定科目)	海外研修A②	海外研修B②	

C2. 総合文化科目

科目 グループ	学修・教育目標	授業科目・単位数・配当年次				
		1年次		2(3,4)年次		
		プレ・ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム以降	
人間と文化	コア	人文科学諸分野の基本的な知識を修得している。		哲学の基礎② 心理学の基礎②	倫理学の基礎② 自己理解の心理学②	文学への招待②
	発展	コア科目で修得した分野の基本的な知識を発展させ、応用分野を含め、より深い理解が得られている。		→	現代社会と哲学② 日本の思想史② 音楽への招待② 多文化主義と文学② 舞台芸術論② 映像と文化②	現代社会と倫理学② 脳科学と心② 美術への招待② サブカルチャーと文学② ことばの科学② 映像と人間②
社会と文化	コア	社会科学諸分野の基本的な知識を修得している。		政治学の基礎② 市民生活と法Ⅰ②	経済学の基礎② 市民生活と法Ⅱ②	社会学と現代② 日本国憲法②
	発展	コア科目で修得した分野の基本的な知識を発展させ、応用分野を含め、より深い理解が得られている。		→	日本の政治② 企業と社会② コミュニケーションと社会② 社会と統計②	現代の国際政治② 現代のマスメディア② 社会心理学入門② 裁判と社会②
科学技術と文化	コア	自然科学諸分野の基本的な知識を修得している。		科学的に考える②	環境と科学②	
	発展	コア科目で修得した分野の基本的な知識を発展させ、応用分野を含め、より深い理解が得られている。		→	物質の究極像② 薬はなぜ効くか② 科学技術の発展と歴史② 気象と地球環境②	人間と進化② 身の回りの科学② 科学と哲学②